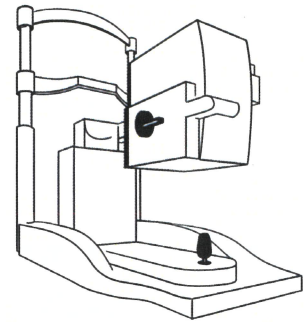


SPECTRALIS クリーニング・消毒クイックガイド

Heidelberg Engineeringは、検査ごとに装置をクリーニングすること、検査前後に消毒することを推奨しています。

スペクトラリスのクリーニングおよび消毒方法について

スペクトラリスのクリーニングおよび消毒の詳細な方法については、The SPECTRALIS Product Family Hardware Manualに記載していますが、本クイックガイドにて簡易的な方法をご紹介します。



スペクトラリスの光学面のクリーニング・消毒方法

留意点：

- 光学系専用のクリーニング製品、または純アルコール（エタノールやイソプロパノール等、濃度99%以上）をご使用ください。
- メタノールを含むクリーニング製品は使用しないでください。
- レンズにクリーニングティッシュや消毒ワイブは使用しないでください。
- クリーニングにはマイクロファイバークロスを使用してください。
- 強い圧をかけず優しくクリーニングを行ってください。
- レンズに傷が入ると検査画像のアーチファクトに繋がる恐れがあります。
- 装置を使用していない時は、レンズカバーとダストカバーを使用し装置を保護してください。



クリーニング：

- スペクトラリスからレンズを取り外します。
- ブロワー／エアダスターを使い、ほこりを払います。
- 乾いたマイクロファイバークロスを使い、優しく円を描くようにレンズを拭きクリーニングします。

消毒：

- 光学面を消毒するには、濃度70%のイソプロピルアルコール、または濃度80%のエタノールを使用してください。
- 確実に消毒・除染を行うには、貴施設の消毒に関する適切なガイドラインに従ってください。
- 消毒の接触時間が経過後、消毒液が光学面に残留しているかどうか確認してください。
- 消毒液が残っている場合、以下のいずれかの方法で光学面をクリーニングしてください。
 - 清潔で乾いたファイバークロスを使い、優しい円を描くようにレンズ表面をクリーニングする
 - 純アルコール（エタノールやイソプロパノールなど）を数滴垂らす



スペクトラリスの非光学面のクリーニング・消毒方法

留意点：

- 装置の非光学面（筐体など）をクリーニング・消毒するには、適度に湿ったタオルを使用してください。
- アセトンや過酸化水素を含む製品は使用しないでください。
- 装置を使用していない時は、レンズカバーとダストカバーを使用し装置を保護してください。



クリーニング：

プラスチックおよび金属向けの一般的なクリーニング製品（※アセトンおよび過酸化水素は含まないもの）を使用してください。

消毒：

アメリカ国内では、Heidelberg EngineeringはMetrex CaviWipes®またはEPA登録済のその他消毒製品の使用を推奨します。その他の国においては、Heidelberg EngineeringはDescosept AF wipes、mikrozid® AF wipes、または抗菌性、抗ウイルス性、抗真菌性のある同等のワイプ製品の使用を推奨します。使用については製品に記載のインストラクションに従ってください。アセトンまたは過酸化水素を含む製品は使用しないでください。

スペクトラリスのタッチパネルのクリーニング・消毒方法

マイクロファイバークロスを中性洗剤を薄めた液に浸し、固く絞ったものを使いタッチパネルをクリーニングします。有機溶媒（アセトンや過酸化水素など）を含む洗剤は使用しないでください。タッチパネルのコーティングを損傷する恐れがあります。

消毒方法は、上記の非光学面の消毒方法を参照ください。